

平成 2 8 年

亀山市教育委員会 7 月定例会会議録

亀山市教育委員会 7月定例会会議録

1. 日 時

平成28年7月21日（木） 9時30分開会

2. 場 所

亀山市役所本庁舎3階 大会議室

3. 出席委員

1番委員 教育長職務代理者（以下職務代理という。）

井 上 恭 司

2番委員 大 萱 宗 靖

3番委員 宮 村 由 久

4番委員 太 田 淳 子

4. 欠席委員

なし

5. 議事参与者

| | |
|-----------------------|---------|
| 教育次長 | 大 澤 哲 也 |
| 教育総務室長（以下総務室長という。） | 原 田 和 伸 |
| 学校教育室長（以下学校室長という。） | 中 原 博 |
| 教育研究室長（以下研究室長という。） | 伊 達 弘 |
| 生涯学習室長（以下生涯室長という。） | 亀 山 隆 |
| 図書館長 | 井 上 香代子 |
| 歴史博物館長（以下歴博館長という。） | 小 林 秀 樹 |
| まちなみ文化財室長（以下まち室長という。） | 山 口 昌 直 |
| 教育総務室主幹（書記） | 木 崎 保 光 |
| 教育総務室主任主事（書記） | 三 井 直 子 |

6. 会議録署名者指名

3番委員（宮村由久委員）

4番委員（太田淳子委員）

7. 教育長報告

職務代理 教育長報告の主なものを「平成28年7月定例会教育長報告」に基づき報告。

6月29日に県の教育委員会が4校ほど学校訪問される予定であったが、延期となった。

7月16日・17日、市子連の大会があった。16日のソフトボール大会では「神辺A」、17日のキックボール大会低学年の部では「みなみ」、低学年以外の部では「川崎」が優勝した。この大会は毎年恒例の行事であり、継続して行われているが、規模が随分縮小してきた。それに伴い、親や子どもの熱気も薄れてきている。

しかし、市子連自体が弱ってきているわけではない。7月9日・10日に鈴鹿峠自然の家で野外体験学習として1泊2日のキャンプを行い、当初の予定人数であった50名の2倍以上にあたる100名以上が参加した。以前はソフトボールやキックボールで盛り上がったが、時代が変わってきた。子どもの人数も減少していることから、子ども会の在り方が問われてきているように思う。今後子ども会活動をどうしていくかについては、市子連の主体的な判断に委ねられる。市子連にとっての曲がり角に来ていると思うので、良い曲がり角となってほしい。

市子連の活動も含め、「地域・家庭の教育力」とは何かについて、改めて問われる必要があると思う。「家庭の教育力」は家庭によって高い家庭と低い家庭がある。そのような中で「地域の教育力」とは具体的に何を指し、何を狙って、何を実現してきているのかということについて、一度振り返ってみる必要がある。

7月20日、平成29年度県教育予算等要望書作成に係る事前調整会議が松阪市で開かれた。県に対する要望をまとめる会議であり、8月9日に県庁にて、県の山口教育長へ要望書を提出する。時間があれば、亀山市として特に強調したい部分を出していき

い。各室長は資料を確認し、意見がある場合は申し出てほしい。
(質問はなく、教育長報告を終わる。)

8. 議事

職務代理 議案第22号「人事案件について」を上程し、事務局の説明を
求める。

教育次長 議案第22号及び第23号「人事案件について」は、亀山市教
育委員会事務委任規則第3条第1項の規定により、別紙のとおり
専決処分しましたので、同条第2項の規定に基づき委員会に報告
し承認を求めます。

職務代理 議案第22号及び第23号は、人事に関する案件のため、地方
教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書に
基づき、非公開に当たるので各委員に諮る。非公開としてよいか。
(全委員異議なし)

職務代理 議案第22号及び第23号「人事案件について」は非公開とす
る。関係職員以外は退室を願う。
(関係職員以外退室)

《非公開》

議案第22号及び第23号「人事案件について」は承認される。
(退室した職員入室)

9. 報告事項

職務代理 報告事項1「亀山市レディネステストの結果について」説明を
求める。
(研究室長説明)

宮村委員 亀山市が採用している教科書会社のテストを採用しているのか。
研究室長 採択している教科書会社との兼ね合いでテスト業者を決定して
いるわけではありません。経年変化を見るために、一度決定した
業者のテストを使い続けています。

宮村委員 レディネステストは現在採択している教科書の進度に対応して
いるのか。テスト範囲が教科書と異なることはないのか。

研究室長 どの業者のテストも、学習指導要領に定められている当該学年

の指導内容に基づき作成されています。例えば、小学校5年生のテストの場合、前年度の小学校4年生までの内容がテスト範囲として出題されています。仮に、ある教科書会社が学習指導要領以外の単元を扱っていたとしても、その内容はテストに出題されません。

太田委員 資料に全国平均と市の平均が記載されているが、県平均は出ないのか。

研究室長 テスト業者は県平均の集計データも持っていると思いますが、県内の学校間で受験率に開きがあることから、市としては県平均との比較は行っていません。

職務代理 全国学力・学習状況調査は悉皆調査である。また、みえスタディチェックも県内ほぼ全ての学校が受験している。しかし、レディネステストは市独自で受験している。本市は学力把握のための予算措置があるため、児童生徒全員が受験することができるが、予算が厳しい市では予算措置がないため、児童生徒全員が受験することはできない。

宮村委員 亀山市は毎年点数が低いが、どんな分析をしているか。また、市内の学校別の点数等は把握しているか。

研究室長 職務代理のご発言のとおり、市の予算措置の有無によって、各市の児童生徒の受験率に大きな差があります。予算措置の無い市では、学校等で希望者を募り、自費で受験しています。対し、本市の児童生徒は全員が受験しています。そのことによって点数が高くなっているのか低くなっているのかの判断はしかねます。また、全国学力・学習状況調査と違い、レディネステストでは公立・私立学校別の全国平均点が公表されません。そういった点からも、全国平均の意味が全国学力・学習状況調査とは異なると考えています。

ただし、テスト業者の設定している目標値は、標準的な定着値であると思われるため、上回りたいと考えています。中学生の正答率が目標値を下回っている結果について真摯に受け止め、基礎分野の定着率が低い点については特に改善を図らなければならないと考えています。

2点目について、市内の学校別の点数等は把握しています。小学校・中学校共に学校間で正答率に差があり、教科によっては2

0ポイントの開きがあります。よって、学力向上のためには、学校ごとの細かい分析も必要であると考えています。

宮村委員

市の平均点が低かったのは仕方がないが、せっかく予算を使ったテストであるので、次への対策に生かしていかないともったいない。学力向上の方法は1つではなく、複雑に絡まっていると思うが、学校現場でも次へ生かす努力をしてほしい。

研究室長

全国学力・状況調査の返却はこれからですが、みえスタディチェックは採点結果を把握しており、レディネステストも今回の返却に伴い採点結果が把握できました。他校の結果はわからない状況ですが、自校の結果と市や全国平均とを比較できます。例年、8月に研修等で採点結果を分析し、2学期の頭には自校の分析結果を市の教育委員会へ報告するという形をとっています。その報告内容に対し、指導主事が指導に入ります。宮村委員のご指摘どおり、やりっぱなしでないよう取り組みたいと思います。

大萱委員

レディネステストは、児童生徒が勉強をどれだけ理解しているかのアンケート調査のようなものだと思う。

個々の生徒がどれだけ理解しているか判断する中で、無回答率が下がっているとのことだが、無回答者は答えが本当に分からないので記述しないのか、テストに協力的でないのかどちらか。

研究室長

レディネステストはアンケートのように実態把握するものというよりは、診断テストという意味合いを持っています。新学年の勉強を始める前に前学年の理解度がどれだけあるのか、弱い単元や質問を把握していくために使用しています。

2点目の無回答率については、思考を伴ったり、記述で表現を伴ったりする問題への回答に対して、手もつけられないという状況が多く見られたときに問題視しました。全国学力・学習状況調査も同様に、長文を読解し自分の言葉で表現する問題に対して空欄であることが多かったのですが、その割合が改善されています。児童生徒からすれば、無回答であることは自分の力をあえて示さないということではなく、全力で取り組んでも分からないということなのかもしれません。

大萱委員

書く努力や考える努力をしてきたということか。

研究室長

はい。今後は、書いてなお正解に繋がれば良いと思います。

(ほかに質問はなく、報告を終わる。)

- 職務代理 報告事項2「図書館利用状況について」説明を求める。
(図書館長説明)
(質問はなく、報告を終わる。)
- 職務代理 報告事項3「工事及び委託事業の発注状況」について説明を求める。
(総務室長、研究室長、まち室長説明)
- 太田委員 昨日の終業式で亀山中学校から配布されたプリントに、3か年で1階から3階を工事すると書かれていたが、工事の発注状況では今年の夏1階部分のみ工事し終了となっている。学校の通知のとおり、3か年で1階から3階全てを工事する計画なのか。
- 総務室長 亀山中学校は1階から3階まで3か年、亀山東小学校は1階と2階の2か年で計画的に工事を行いたいと考えています。工期的に夏休みのような長期休業中でないと工事ができないため、以前、中部中学校で行った内部改修工事と同様、毎年施工する予定で考えていますが、予算措置が伴うため、確定ではありません。
- 太田委員 先に予算を確保する必要があるにも関わらず、学校から保護者へ通知するのはいかがなものか。校長と案内関係の調整をしてほしい。
- 宮村委員 関の山会館の施設整備はいつされるのか。
まち室長 今年度から3か年かけて整備をします。今年度は計画地の購入、基本設計、実施設計及び埋蔵文化財の発掘調査を、来年度再来年度の2か年で建物の整備を行います。開館は平成31年度を予定しています。
- 宮村委員 基本設計と配置設計を同時に行うのか。
まち室長 基本設計とは今回発注をした配置設計のことです。8月に中間報告があり、建物の配置等を見て、実施設計へ移ります。
(ほかに質問はなく、報告を終わる。)
- 職務代理 報告事項4「教育委員会行事報告及び予定表」について説明を求める。
(総務室長、学校室長、研究室長、生涯室長、図書館長、まち室長、歴博館長説明)

- 職務代理 8月10日高梁中学校と亀山中学校が歴史博物館を見学する件については、歴史博物館が主体で行っているのか。
- 歴博館長 亀山中学校の姉妹校である高梁中学校が亀山市に滞在する二日間の行程のうち最終日（10日）に見学をしたいと亀山中学校の校長先生から電話がありました。当館には備中松山と亀山の両方の資料がありますので、それらを用いて関係性を説明する予定です。
- まち室長 まちなみ文化財室にも、9日に亀山城（多門櫓）とその周辺の説明の依頼がありました。
- 職務代理 亀山中学校と歴史博物館とまちなみ文化財室で対応するとのことだが、教育委員会は対応しなくて良いのか。また、亀山市は高梁中学校の宿泊費等を負担しなくて良いのか。
- 研究室長 後日、行程初日の交流セレモニーへの案内が教育委員会へ届くかもしれませんが、宿泊所の手配やその他については教育委員会が対応することはありません。また、宿泊費等は高梁市が負担をします。来年度、亀山市が高梁市へ伺う予定であり、教育研究室の体験活動支援事業にバス代と宿泊代等を計上し、予算措置をする予定です。
- 職務代理 歴史博物館やまちなみ文化財室への依頼は電話のみか。
- 歴博館長 亀山中学校の校長先生から直接電話があり、説明内容等を調整した後、正式に書面で依頼がありました。
- 職務代理 教育研究室は、教育委員会がどのように動けば良いのか亀山中学校に確認すること。姉妹校へ粗相がないようにしてほしい。
(ほかに質問はなく、報告を終わる。)

10. その他

- 職務代理 第4回臨時会は、8月10日（水）午前11時半からとする。
8月の定例会は、8月25日（木）午前9時30分からとする。
同日午後1時30分から午後4時30分まで教育委員の研修会が津で行われるので参加をお願いする。

11. 閉会

11時10分